

## 行事案内

### 第4回アジア養豚獣医学会 (APVS2009) の開催

期 日：2009年10月26日(月)～28日(水)

場 所：つくば国際会議場「エポカルつくば」  
茨城県つくば市竹園2-20-23

主 催：APVS実行委員会(構成団体：日本豚病研究会、日本養豚獣医師協会(JASV)、日本養豚学会、日本SPF豚研究会)

後 援：農林水産省他(予定)

テーマ：豚の疾病診断技術向上のために

内 容：

- ①基調講演：アジア各国の養豚・疾病状況の報告、生産者セミナー、サテライトセミナー(協賛各社)
- ②ワークショップ：繁殖新技術、PRRS・PCVAD、フードセーフティ、生産システム・バイオセキュリティ等
- ③エンタープライズセミナー(協賛企業)

\*アジア地域の口蹄疫や豚コレラ等重要伝染病の現状と対策、サーコ関連疾病やPRRS等生産性に多大な影響をもたらしている疾病の他、農場

防疫や繁殖管理の専門家の講演、畜産関係者、養豚経営者を対象としたリキッドフィーディングに関する技術情報、農場生産性から経営管理にいたる各国生産者・管理獣医師の取り組み報告等の企画を予定。

参加国等：10カ国以上、600名(生産者等を含む)

登 録：来春募集予定。

その他：参考資料(APVS2009プログラム、国内向けポスター・英文ハガキ(画像ファイル)、APVS創設秘話)の希望者は、APVS2008実行委員会事務局(広報実務)岩田までメール(iwata@zimalmedia.co.jp)まで請求。

問合せ先：第4回アジア養豚獣医学会 実行委員会事務局  
〒305-0856 茨城県つくば市観音台3-1-5  
動物衛生研究所内

☎・FAX 029-838-7774(疾病診断室)

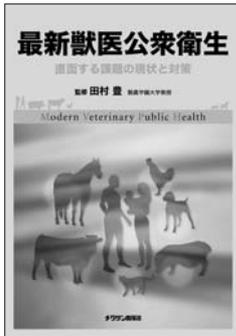
E-mail : apvs-info@apvs2009.org

HP : <http://apvs2009.org/>

## 紹介

最新獣医公衆衛生  
直面する課題の現状と対策

大森伸男（日本獣医師会専務理事）



公衆衛生領域における獣医師の果たすべき社会的役割は、食の安全の確保、人と動物の共通感染症対策はもとより、アニマルウェルフェア（動物の福祉）や適正飼育管理の増進、野生動物救護などの自然環境保全、さらには動物介在療法や学校飼育動物対策などの動物介在諸活動を通じ、人と動物の共生型社会を築くとする今日的課題に対処する上で旧来にも増し守備範囲は拡大し、重みが増した。

しかしながら、獣医師の届け出総数の実に15パーセント近くが国、都道府県や市町村において公衆衛生関連業務に従事する公務員の獣医師専門職として活躍していることは意外に知られてはいない。

一方、社会経済のグローバル化が進展する中で、平成13年我が国にBSEの存在が初めて確認されて以降、米国の炭疽菌バイオテロ事件、さらにはSARS問題、高病原性トリインフルエンザの国内発生、未だアジア・アフリカ諸国において猖獗を極める狂犬病についてよもやの人感染者の死亡例が発生した。

このような事態に接し、人と動物の共通感染症に対する危機管理の備えが求められるとともに、一方で、食品関連業界の企業倫理が問われる中、国産と輸入を問わず畜水産食品の安全確保体制の整備が、また、犬や猫が家庭（伴侶）動物として家族の一員に迎えられ一般家庭での飼育が普及する中で公衆衛生確保の観点から動物の保健衛生の向上に対する国民的関心が高まってきている。

このような事情を背景に獣医公衆衛生の関わる各種制度は逐次、整備・強化された。それは、食品安全基本法、BSE特別措置法や外来生物法の制定、感

染症法における獣医師の果たすべき責務の明示、動物愛護管理法の改正等に代表される。同時に行行政策としてのリスク評価とリスク管理手法の導入、医薬品や農薬等化学物質に対するポジティブリスト制度が実施に移され、従前からの医薬品の使用規制制度とともに薬剤耐性菌対策も強化され、畜産生産現場におけるHACCP手法による衛生管理システムもようやく緒についた感がする。さらに、身体障害者補助犬法の制定など動物の社会参加を促す法制度も新たに芽生えるとともに、動物介在活動における診療獣医師の果たす役割にはめざましいものがある。

公衆衛生をはじめ、動物の福祉施策、さらには社会福祉活動の推進に当たり、施策の企画立案、またその実行部隊として現場指導の中心的役割を担うのが獣医師専門職である。専門職である以上、獣医師は獣医公衆衛生領域に係る新しい技術と知識修得のため、日々研鑽に努めてこそ、その職責を全うし得るものともいえる。

本書は、獣医公衆衛生が社会的要請に応える上で必要となる今日的課題が網羅され、各専門分野の執筆人についてみると、それぞれ我が国を代表するしかも現場に長じた専門家を擁し、特に、最近の課題とその対策推進の方向性については、実務者向けに、平易、簡潔、要点抽出に徹した整理がなされた感がする。

公衆衛生専門職の公務員獣医師、また、各般の動物介在活動に指導的役割を担う診療獣医師の方の必携書として、さらに、全国獣医学系大学において獣医学教育課程に学ぶ獣医学学生の公衆衛生学のテキストとして活用され、学生諸子の多くの方が獣医公衆衛生が担うべき職務により関心を待たれ、公衆衛生及び関連領域である動物衛生専門職の行政官（担当職員）として巣立つことを願う。

監修：田村 豊（酪農学園大学教授）

執筆者：唐木英明（東京大学名誉教授）ほか多数

定 価：4,500円＋税

発行所：チクサン出版社

発行元：株緑書房

東京都千代田区神田錦町3-21

☎03-5281-8200

## 行事案内

# 第1回動物園水族館および野生種における 動物医療の集いの開催

日時：2009年11月7日（土）～8日（日）

場所：酪農学園大学中央館学生ホール（第1会場）、  
定山溪万世閣ホテルミリオーネ（第2会場）、  
札幌市円山動物園動物科学館ホール（第3会場）

主催：野生動物医療フォーラム

共催：酪農学園大学

対象：獣医師、動物園水族館および野生救護関係者  
100名、学生50名

内容（予定）：

### 1 公開講座（第1会場）

「動物園のお医者さん—動物園動物医療とは？」

#### (1) 「ゾウの臨床—爪膿瘍と足裏膿瘍」

向井康彦氏（福山市立動物園）

#### (2) 「動物園動物の繁殖について—ホッキョクグマ ほか」

向井 猛氏（札幌市円山動物園）

#### (3) 「カンガルー類の臨床」

外平友佳理氏（到津の森公園）

#### (4) 「ジンベエザメの水中遊泳採血および輸液」

柳澤牧央氏（沖縄美ら海水族館）

### 2 野生動物臨床医学セミナー（第1会場）

「野生動物医療における麻酔管理」

#### (1) 「酪農大附属動物病院での麻酔管理」

山下和人氏（酪農学園大）

#### (2) 「哺乳類の麻酔管理」

福井大祐氏（旭川市旭山動物園）

#### (3) 「サメ類の麻酔管理」

柳澤牧央氏（沖縄美ら海水族館）

#### (4) 「猛禽類の麻酔管理」

齊藤慶輔氏（猛禽類医学研究所）

### 3 教育シンポジウム（第2会場）

「多様な動物の臨床技術向上目指した教育体制とは」  
コーディネーター：浅川満彦氏（酪農学園大）

### 4 ベーシックセミナー（第3会場）

「日常診療のワンポイント」

座長：福井大祐氏（旭川市旭山動物園）

「皮下輸液療法で使っているいい輸液剤、使っていない輸液剤」  
鈴木一由氏（酪農学園大）

### 5 症例報告（Clinical Tips）（第3会場）

### 6 オプショナルツアー

「札幌市円山動物園視察」

参加費：①動物園水族館獣医師等（獣医師、動物園水族館および野生救護関係者）15,000円（学会参加費、講演要旨、会場間移動のバス、定山溪万世閣ホテルミリオーネ宿泊（夕朝食付）、2日目の昼食込、事前予約のみ、100名）、②学生（酪農学園大他含む）1,000円（当日登録、講演要旨代：参加は1・2のみ、要学生証）、③公開講座を希望の一般の方 講演要旨代1,000円（当日登録）で聴講可能。

その他：事前登録方法、プログラムの詳細については、セカンドアナウンスメント（5月頃）にて案内。

問合せ先：第1回野生動物医療フォーラム事務局

酪農学園大学獣医学部獣医学科感染・病理教育群内（担当：浅川満彦）

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582

☎011-388-4758 FAX 011-387-5890

E-mail : askam@rakuno.ac.jp

## 紹介

◎新製品

### 牛ヒストフィルス・ソムニワクチン “化血研”

牛の肺炎，移動などストレス後の脳炎による急死，生殖器疾患，関節炎などを起こすグラム陰性細菌であるヒストフィルス・ソムニ（旧名ヘモフィルス・ソムナス）に対するワクチン製剤。

発売日：2009年2月3日

問合せ先：勸化学及血清療法研究所本所営業管理部学術第三課 ☎096-345-6500

## 訃報

◎構成獣医師

菊地久雄氏（秋田県大仙市大曲福見町17-12）平成20年11月12日逝去，享年75歳。

石井敏治氏（長崎県平戸市市平町一関免149）平成20年11月11日逝去，享年98歳。

北川静夫氏（滋賀県彦根市城町2-5-33）平成20年11月13日急性心不全のため逝去，享年82歳。

河内咲夫氏（開業 島根県松江市寺町99-58）平成20年10月19日逝去，享年84歳。

安食 隆氏（地方公務員 島根県出雲市荻籽町415-5）平成20年11月10日逝去，享年49歳。

岩下得蔵氏（鹿児島県出水郡長島町鷹巣74）平成20年11月7日逝去，享年83歳。

天神木実美氏（鹿児島県鹿屋市吾平町下名2053）平成20年11月7日逝去，享年83歳。

小澤陳秀氏（埼玉県草加市高砂2-2-5）平成20年11月16日逝去，享年82歳。

花輪恒夫氏（埼玉県さいたま市大宮区三橋4-71-2）平成20年10月31日逝去，享年87歳。

野田友榮氏（福井県坂井市丸岡町坪江5-61）平成20年11月23日病気のため逝去，享年78歳。

古関 設氏（千葉県鴨川市前原356-3-1207）平成20年11月15日病気のため逝去，享年72歳。

渡邊芳夫氏（宮城県登米市中田町浅水嶺鍛冶屋221）平成20年11月20日病気のため逝去，享年78歳。

坂口勤五郎氏（農業 鳥取県鳥取市河原町中井334）平成20年11月19日病気のため逝去，享年74歳。

椿 正和氏（山口県阿武郡阿東町徳佐中3360-1）平成20年9月27日肺炎のため逝去，享年86歳。

西見和知氏（山口県岩国市美和町下畑423）平成20年10月逝去，享年91歳。

川瀬彰雄氏（福井県福井市四ツ井2-11-3）平成20年11月25日病気のため逝去，享年48歳。

片岡徳治氏（宮城県仙台市太白区東郡山2-17-20）平成20年11月25日老衰のため逝去，享年92歳。

渡邊豊作氏（開業 福島県いわき市石塚町字東10-6）平成20年11月24日老衰のため逝去，享年102歳。

竹林生夫氏（高知県須崎市大谷190）平成20年11月18日病気のため逝去，享年72歳。

丸山成和氏（東京都杉並区久我山4-20-2）平成20年4月24日病気のため逝去，享年66歳。

庄子卓郎氏（専門学校講師 宮城県宮城郡利府町花園2-4-2）平成20年12月2日逝去，享年78歳。

長谷川平吉氏（開業 長野県佐久市平賀5454）平成20年11月30日逝去，享年86歳。

黒沢昭二氏（開業 長野県南佐久郡小海町本村859）平成20年11月17日逝去，享年81歳。

望月照隆氏（自営業 長野県安曇野市豊科南穂高4377）平成20年11月13日逝去，享年79歳。

川野正介氏（自営業 長野県長野市豊野町浅野873）平成20年11月13日逝去，享年85歳。

山屋師郎氏（北海道北斗市本町73-1）平成20年11月10日白血病のため逝去，享年84歳。

岩村一一氏（北海道白老郡白老町川沿1-568）平成20年11月20日脳梗塞のため逝去，享年92歳。

望月敏輝氏（北海道赤平市泉町1-3-4）平成20年11月24日肺炎のため逝去，享年80歳。

並木誠一氏（開業 北海道札幌市厚別区厚別中央東2条6-3-1）平成20年11月29日肺出血のため逝去，享年56歳。

加沢敏郁氏（秋田県大仙市南外字西板戸84）平成20年12月5日逝去，享年79歳。

林 正康氏（自営業 富山県下新川郡朝日町三枚橋465）平成20年12月14日病気のため逝去，享年73歳。

坂井次男氏（企業アドバイザー 佐賀県三養基郡みやき町原古賀1024）平成20年12月16日大腸癌のため逝去，享年82歳。

長谷田知己氏（自営業 富山県富山市大泉本町1-6-8）平成20年12月21日病気のため逝去，享年87歳。

（平成20年11月17日から平成20年12月25日の間に所属地方獣医師会から報告のあった訃報を掲載しました。ご冥福をお祈り申し上げます。）

## 事務局日誌

- 2月1日：福岡県獣医師会創立60周年記念式典に山根会長出席  
：第10回全国学校動物研究大会に中川副会長出席
- 2月4日：第7回学術・教育・研究委員会
- 2月8日：埼玉県獣医師会創立60周年記念式典に中川副会長，大森専務理事出席
- 2月9日：畜産大賞業績発表・表彰式に山根会長出席
- 2月10日：第8回産業動物・家畜共済委員会
- 2月13日：第37回家畜人工授精優良技術発表全国大会

に山根会長出席

- 2月14日：動物看護職シンポジウムに大森専務理事出席
- 2月15日：静岡県獣医師会創立60周年記念式典に北村顧問出席
- 2月16日：第22回会報編集委員会
- 2月23日：第7回家畜衛生委員会
- 2月24日：第7回公衆衛生委員会
- 2月25日：三役会議  
：地区獣医師会連合会会長会議
- 2月26日：獣医師賠償責任保険中央審議会
- 2月27日：第2回動物愛護福祉対策検討委員会

## 募 集

○大学教員

### 麻布大学獣医学部生産獣医学系臨床繁殖学分野教員

#### 1 募集人員：

獣医学部生産獣医学系臨床繁殖学分野講師又は助教1人

#### 2 担当分野：獣医臨床繁殖学分野

#### 3 担当予定科目：

獣医臨床繁殖学，獣医臨床繁殖学実習，産業動物獣医総合臨床，産業動物臨床実習，産業動物臨床基礎実習，卒業論文

#### 4 応募資格：

①獣医師の資格を有すること，②博士の学位を有することが望ましい，③人格識見に優れ，本学における教育研究に強い意欲と熱意を有し，かつ業績等が「麻布大学獣医学部教員の採用・昇任基準」に定める条件を満たしていること，④産業動物の臨床経験を有し，本学動物病院における診療能力を有する者，⑤年齢は，35歳くらいまで。

#### 5 着任予定：平成21年10月1日

#### 6 提出書類：

①履歴書1通（※本学所定の書式），②研究業績目録1通（※本学所定の書式，現在印刷中の業績は，それを証明する書類のコピーを添付すること。業績目録には応募者本人に下線を入れ，責任著書を太字

とすること，③将来の研究と教育に関する抱負1通（用紙・書式は自由，1200字程度），④推薦書2通（推薦者2人より各1通）

#### 7 応募書類提出先：

〒229-8501 神奈川県相模原市淵野辺1-17-71  
麻布大学事務局教務課気付 獣医学部長  
有嶋和義あて

（応募書類封筒の表に「獣医学部臨床繁殖学分野教員応募書類在中」と朱書きの上，簡易書留等記録が残る方法で送付すること）。

#### 8 提出期限：平成21年4月10日（金）消印有効

#### 9 問い合わせ先：

麻布大学事務局教務課  
☎042-754-7111（内線）317  
kyomuv@azabu-u.ac.jp

#### 10 その他：

※いずれの書類も，書式及び記載事項等の詳細は，JREC-IN 研究者人材データベース <http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop> から本件該当ページを検索し，添付ファイルをダウンロードの上，記入・作成。なお，書類選考及び面接有り。